

組合員数 106,307人
支部数 947
読者数 66,052人
(5日現在)
 (連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
 E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
 ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第397号 2023年1月15日(日)
(通巻第596号)
全日本年金者組合中央本部
 〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
 発行人 杉澤 隆宣 月刊1部100円(組合費を含む)
 昭和57年6月30日第三種郵便物認可

笑いはパワーのみなもと



にっこりと口角をあげて、相撲の柏手を打つように両手をピンと伸ばしてから、手のひらをあわせて「一、二、三」と声を出しながら10回叩き、もう一度繰り返して、天に向かって「イーイ」と両手を伸ばす。「笑いヨガ」の基本動作です。大阪・住吉支部の竹村聖(ひじり)さんは、介護福祉士として高齢者、障害者の訪問介護をしながら、「笑いヨガ」の輪を広げて、世の中を明るくしようと今年も全国を駆け回ります。

「笑いヨガ」の輪を広げる

介護福祉士 竹村 聖さん
 大阪・住吉支部



竹村さんが「笑いヨガ」を始めたのは2010年6月、「黄金色のキラキラ光る川を眺めた」という肺がんによる摘出手術後のことです。まだ老齢年金をもらえない年齢の竹村さんですが、これまで試練は山ほど体験してきました。父親が16年間寝たきりだったため、子供の頃から「貧乏ぐらし」でした。夜間大学を卒業して、学童保育の指導員10年、その前は民商事務局、共同保育所などで働いてきたのですが、「介護事業所を立ち上げたけど、お金を持ち逃げされて、借金を背負わされた。煙草吸わないのに肺がんになったのは、そのストレスじゃないかな。」

「最初はドン引きしましたが、笑うとNK(ナチュラルキラー)細胞が増える」と聞き、苦しい抗がん剤よりも笑う方が一と考えたのです。日本笑いヨガ協会会長の高田佳子さんと出会ってドーン

とほまりました。辛い時にこそ笑いをと、大地震にみまわれた福島、熊本にも「笑いヨガ」を届けました。まだ老齢年金をもらえない年齢の竹村さんですが、これまで試練は山ほど体験してきました。父親が16年間寝たきりだったため、子供の頃から「貧乏ぐらし」でした。夜間大学を卒業して、学童保育の指導員10年、その前は民商事務局、共同保育所などで働いてきたのですが、「介護事業所を立ち上げたけど、お金を持ち逃げされて、借金を背負わされた。煙草吸わないのに肺がんになったのは、そのストレスじゃないかな。」

読者にお年玉プレゼント

竹村さんは昨年10月、「大阪民主新報」に連載したエッセイに加筆した「笑いヨガの輪」を日本機関紙出版センターから出版。同社のご好意で5



日常に「コマを生き生きと描き、微笑みを誘う「笑いヨガの輪」(定価1500円+税)をプレゼントします。希望者は「年金者しんぶん」編集部宛に、ハガキで1月31日必着で。

一生懸命に働き、生きてきた高齢者、将来をにやう若者が食事も満足にできない状況におかれていのに、軍費を大幅に増やすという今の日本です。「笑いヨガ」とともに、自分で調べて加入した年金者組合の先輩たちと年金引き上げ、介護・医療改善、そして平和を守る運動を、得意のイラスト、レタリング、ポスターペーパーが出来ます。維新がもてはやされる大阪、日本をどうにかしていくためにも、「笑いヨガ」を広めていきたい。高齢者大会でも一講座設けてほしい」と語る座長の竹村聖さんです。

われらが町長は年金者組合員

玉川支部 埼玉・滑川町

埼玉・滑川町は、吉田町長時代に18歳未満の日会などにも参加された。田前町長時代に18歳未満の日会などにも参加された。事業や給食費の無償化、加率は県内でも上位で、支援策を引き継ぎ、高齢者支援対策にも意欲を示しておられ、年金者組合としては心強い限りです。



11月の自治体キヤラバンの折、年金者組合にお誘いしたところ快諾され、「年金者しんぶん」も購読されました。写真は町長室で中央が大塚町長(滑川支部)・村田千代子

風雪

▼漫画 「年子さん」の作者野上周子さんに「暗い話題が多い

ので、新年号は明るい題材を」とお願いした。「明るい話：うーん」がお返事。困らせてしまったかな。

▼暗い話題の中でも大問題なのが学校の「部活」でひきもきらない体罰・暴力事件である。「成長させたい」という気持ちからつい「。体罰を引き起こしたスポーツ指導者の言い訳は真っ赤な嘘。

▼好成績をあげれば所属している学校、企業の名が上がる。自分の名声も高まり、報酬も上がる。子どもたちを「私利私欲のための素材」としてしか見ていないから、思うようにならないと暴力に走る。それを認め、煽り立てる「毒親」もいる。